

子どもたちへ海の魅力や歴史を伝える

市立海の博物館の役割

市立海の博物館
教育委員会生涯学習課
☎ 3260006
☎ 291268

海の博物館の 教育的役割について

海の博物館の博物館運営で特徴的であるのが、次世代を担う子どもたちや若者世代への海に関する歴史や環境に関する教育です。

今回は、その具体的な取り組みを紹介します。

市内小学生の学習の場

近年海離れが進む中、平成25年に「海洋基本法」が制定され、小・中学生の学校教育の中で海洋教育を実施していくことが決定しました。



な生き物を観察し、海的环境について学ぶ機会を提供しています。

修学旅行や遠足の受け入れ

春と秋に、県外の修学旅行や市外の社会科見学などの受け入れを行っています。修学旅行は、特に京都や大阪などの海に面していない地域の学校から来館していただき、日常の生活では接することのないさまざまな漁について本物の資料にふれながら学習してもらいます。ほかにも、磯や干潟での生き物観察、ビーチコーミング（漂着物観察）、カツオ節削り体験、貝殻を使ったフラフト体験など、見学だけでなく海に関係するさまざまな体験メニューを提供しています。



学芸員実習の受け入れ

毎年、学芸員をめざす大学生の学芸員実習や、資料の作

図実習の受け入れを行っています。学芸員の資格を取得するには、登録博物館や美術館での実務実習が必須です。

海の博物館での実習は、実物資料を扱います。資料の清掃、採寸、写真撮影、図面おこし、登録など、博物館で行われる一連の作業を実習します。実習生が1コーナーの企画運営まで取り組み、その成果を1年間展示して、来館者に見ていただきます。

県外の大学に通う鳥羽の学生さんも、学芸員実習は海の博物館で受けてみてはいかがでしょうか。

体験メニューのお知らせ

旬の浦村カキを味わう！

カキむき体験と簡単カキ料理

博物館のある浦村町はカキの産地。カキ養殖場の見学をして、どのようにカキが育つかを学び、実際に自分の手で殻から身はずします。むいた身を使って、お好み焼きやお味噌汁などで味わってもらいます。

とき 2月12日(月・振)

午前11時～午後2時

定員 20人(要予約)

参加費 1,500円

対象 小学生以上

手づくり海苔を作ろう！ 海苔すき体験

昭和40年頃まで行われていた板海苔作りを海の博物館に保存されている道具類を使って作ります。当日は手作業で、海苔を洗い、包丁で刻み、型枠を使ってすのこの上に海苔をすき上げます。生海苔の試食もあります。

とき 2月4日(日)

午前11時～午後2時

定員 20人(要予約)

参加費 1,300円

対象 小学生以上

村林先生のお魚料理教室

『和食の基本、ダシを極めよう』

カツオ節から「一番ダシ」「二番ダシ」を取り、料理を3〜4品作ります。また老舗カツオ節屋「にんべん」のかたの話や、ダシの飲み比べもあります。基本のダシを覚えると和食の幅も広がります。

とき 3月10日(土)

午前11時～午後2時

講師 村林新吾 先生(相可

高校食物調理科教諭)

定員 30人(要予約)

予定受付開始日 2月1日(木)

材料代 2,500円